

新年あけまして  
おめでとうございます  
編集部一同

# けんせつ

東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

印刷部数11万2900部  
(購読料は組合費のな  
かに含まれています)  
(年間購読料 千八百円)  
定価、五十円

東京都新宿区北新宿1-8-16  
東京土建一般労働組合  
電話03 (5332) 3971 (代表)  
FAX03 (5332) 3972  
発行人・編集人  
三木 勉

## カレッジで学んで何でも吸収したい

葛飾 石田 祐三さん・凌さん 親子



「カレッジでは利益や時間を度外視して大事なことを教えてくれる」と石田凌さん

自分の好き  
な植木職人をしながら、父親  
には愚痴を言ったり相談した  
りできるような関係でいても  
らいたいという考えがありました。

### 植木職人から大工へ

### 父と一緒に仕事もいかな

今回は、凌  
さんは東京建築カレッジへの入  
学を祐三さんの勧めで決めた  
ました。凌さんはカレッジ入学  
にあたり、何が出来たらいい  
とかよく分からないけれど

「建築に興味を持つ若者の芽  
をつぶさずに、建築の仕事に  
そのままつけるような体制と  
いうのを作っていたらすご  
くいい」と話してくれました。  
一緒に大工の道を進み始め  
た凌さんに、祐三さんは「こ  
れからどんどん勉強してもら  
い、今の私の歳になったとき  
に大工をやっていて良かった  
と思えるようであらほしい。  
強制されたのではなく、自分  
が好きでやっているの、悔  
いなく、お客さんに喜んでも  
らえるようにやってもらえれ  
ばいい」と目を細めました。

石田凌さんは1996年4  
月生まれ、現在23歳です。昨  
年春に大工になろうと決意し  
ました。高校は農業系の学校  
でしたが、

その気持ちに変化が生まれ  
たのは、植木の仕事をしてい  
く中で、庭と建物の関係を考  
えるようになったり、尊敬す  
る上司に「お



「大工で良かったとなれば」と石田祐三さん

前のお父さん  
が大工なんだ  
から、植木屋  
と大工の絡み  
というのを視  
野に入れてや  
っていても  
いいんじゃないか」と、ア  
ドバイスをも  
らったりした  
ことがきっか  
けです。それ  
から半年くら  
い考えて、父  
親と一緒に仕  
事をしていく  
のもいいかな  
と決意しまし  
た。

### 若者の芽を つぶさない

凌さんの高校の同級生で造  
園業に進んだ人はほとんどや  
めてしまっています。凌さん  
はその理由を、若い人にとっ  
て建築業に魅力がないからと  
考えています。給料、1日の  
労働時間、休み、その他の手  
当などが、そういった面で、  
まず、どれもいいものがない。  
しかし凌さんは建築に興味  
がある若者が周りにいるとい  
います。建築系の学生が集ま  
るイベントで、大学生が建物  
の改修をした話を聞きました。  
一軒を自由にやっていい  
という施主がいて、指導する  
大工のもとで大学生が仕事を  
したそうです。「意欲がある  
人はいっぱいいる」と凌さん。  
「建築に興味を持つ若者の芽  
をつぶさずに、建築の仕事に  
そのままつけるような体制と  
いうのを作っていたらすご  
くいい」と話してくれました。